平成２８年度　第３回　理事会　議事録

　　　　　　　　　　　　　　H28.12.11（日）　砧図書館地下集会室

　　　　　　　　　　　　　　　　　理事会後　川村元雄様　講演会（ＦＣ東京普及部長・ＪＦＡ公認Ａ級ジェネラルライセンス所持）

「おとなの関わりが育成にもたらす効果」

　＜抽選＞

レディース大会組み合わせ

　　　　　　初戦　用賀。勝ち上がりで船橋と八幡山の勝者。

指導者大会組み合わせ

　　　　　　初戦　尾山台。勝ち上がりで烏山と松沢の勝者。

＜白井様より＞

〇補欠チームについて（指導者大会&レディース大会）

　インフルエンザ、ノロウイルスなどで辞退した場合は補欠が繰り上がる。

〇ベンチ入り指導者資格問題について

・都大会とその全ブロック予選で２０１９年度から全員がＤ級以上の有資格者であること。

　猶予はあと２年に。

・都の決め事で２０１９年度より不公平が出ないよう、全ブロックすべてで行うようになる。全ブロック２０１９年度より適用。

・ベンチには２か３人入れる。（全員有資格者！）

無資格者がいる場合、試合は行うが失格とする。

予選のどこかで抜き打ちで指導者証の確認をする。

都大会はメンバー表の中にベンチ入りする監督、コーチを記入する欄にライセンス番号を記入する形になる&指導者証の確認。

・全ブロック予選、つまりリハウス、ＪＡ東京カップ、ハトマーク、Ｕ－９（３年生大会）が有資格者要。

・２０１８年度まではみなし有資格者、少年少女も大丈夫だが、２０１９年度以降は正式なライセンスでないといけない。

　Ｄ級・・・２日間のみ。ほぼ追試はなし。（年間\３２８０で自動更新）

　Ｃ級・・・８日間くらい。４年間で４０ポイント達成しないといけない。コーチを続けていく方以外は難しい。お金もかかる。

・５ブロックで講習会が行えるよう打診はしている。（日本学園からお手伝いの申し出）

・調布市で２０名は受け入れ可能。（２月・費用１万円）

・Kick-offのサイトでもＤ級の募集は出ている。

〇競技規則の改正について（都連盟と５Ｂ、世田谷区の大会）

（１）８人制の試合成立人数。常時８人→試合開始時に８人。途中で補充メンバーがいな

くなった時は６人で成立。

世田谷も同じにするか検討中。２月の理事会で決定。

（２）ユニ規程も厳格化。都ではＧＫ特例廃止とソックスのラインの本数（ハンドブックのライン本数の記述を削除）。

　　世田谷区でも同じにするか検討し、２月に発表。

（３）世田谷ではすべての審判を３人制（４名）に統一。

（４）１１人制も８人制も自由な交代に統一。全試合に交代ゾーン。

　　実務上、混乱が生じた為、世田谷では最初から交代ゾーンを作り、自由な交代に。

　　キーパー交代のみ主審に言う

＜渡辺様より＞

・１２月３日ですべての試合終了。

・第３試合のチームが第１試合の審判だが、偏りがあるという指摘を受け、0.25ポイントをあげる事を考えている。８月で締め、９月にポイントをつける。

（例）3.25は繰り上げて4ポイント。

・迷惑メールについては、大会を終了した事もありメーリングリストすべて削除。

　クラブ理事には配信。連盟ブログに同じ内容を入れている。

・クラブ名簿の原稿を明日以降個別に配信。

・来年度の役員が決まっているところもあるが、今年中に名簿の原稿を頂いたチームには新しく再開するメーリングリストに登録するアドレスを２つ追加できる。

・Ｕ－１２リーグ、今年は４４チーム（４ブロック）。１１チームでのリーグ戦。

　春、秋全部で２２０試合ずつ行わなければいけなくなった。

　天気がよければ消化できるが、今年は、雨で流れた場合や、小学校会場提供１回でＯＫだったが、これは今年のみ。来年はまた変わる。

・６年大会、来年度は１ブロックで７～８チーム。合計１４，１５チームになるかと思われる。

　そこでも試合数が増えるので、秋の大会については、リーグ戦をやめて、トーナメントで行うと考えている。

・秋の区民体育大会の小学校会場での試合中、選手の蹴ったボールがコートの外に飛び出して民家の２Ｆの窓に当たり破損。誰がお金の負担をするのか？

　話し合いの結果、原因を作った選手、クラブに負担してもらうことにした。

　財団としては「大会期間中の事故については責任を負わない。」これについて大会参加者、選手の皆さんがスポーツ保険に加入することが条件となっている。

　人間が特定できない場合、どのような負担をするのか、そういう本格的な保険があるのかということが今後の課題。来年度話し合って決める。

・現在連盟の加盟クラブ６１。内４種登録６０。

　未加盟で大会に参加していたＦＣ池尻が来年度より加盟する。

・２月に理事会（１月初めに連絡）。１月末までにクラブメールで次年度、理事・副理事を提出。

＜榎園様より＞

・赤堤小、瀬田小で４級研修（低学年）を秋に開催。両日で１６名参加。

・アンケートで９割の方から審判研修を今後も行ってほしいとあり、今後もそのような感じで行っていく。

・今年度は委員１７名、審判部２名、計１９名。

・今年度は都大会につながる大会のベスト８以上の試合、ベスト８は主審、ベスト４以上は４人ともすべて審判委員会が行った。

　来年度からベスト８からすべて４人とも審判委員会の方で行う。

（ベスト４に残ったチームは都大会に行ける形になる。ベスト８の試合の方が大事になってくる。）

・都大会の試合が増えてくるので現審判＋１０名にしていきたい。

＜菅谷様より＞

・バーモントカップ世田谷５Ｂ大会要項を１月中旬に全チームに配信。参加は意思表明を。

・３月１１日（土）夕方（１７時頃）　第１回予選

　４月、５月　５Ｂ予選　日程未定

・ここ３年で４０チーム参加頂いている。１日では終わらないので３月にも行う。ここで

はまだ６年生が在籍中だが（現５年生の大会）。新年度の選手登録はしていなくてもＯＫ。

決勝トーナメントが４月から５月なので４月中には登録する。

・２月中旬に抽選&説明　＠喜多見東地区会館

・都大会６月中旬～下旬

　全国大会・・・８月２０日前後から開催（８月駒沢に屋内競技場完成）

＜小林様より＞

・Ｕ－１０，Ｕ－１１は来年も実施。１月２５日〆切り。

・１１チームで行うブロックにすると、Ｕ－１０，Ｕ－１１の対戦というのは連盟の公式　　　戦が入ると組んでいても中止しなければいけないし、雨が降ると予定していなかったものが組まれるということでなかなか消化が難しいので、最高１０チームリーグで来年も考えたい。

・来年３１チームになった場合、１チーム減らすか２９チーム以下なら、どこかのチームに２つのチームとして出てもらうという形で４つか３つのブロックということで行いたい。減らす場合は、今年度の参加日や、会場提供が少なかったところで検討。

・ブロックの委員長募集

・Ｕ－１０，Ｕ－１１リーグはＪＦＡから補助金を頂いている。毎年その中から各クラブ

にボールを渡しているが、来年は変更あり。

・参加チームは３月５日第１回の会議を開催しますが、出席できない場合、その年の参

加はできない。

＜白井様より＞

・東京１部、２部か、５Ｂ４位以内でないと全日本予選へは行けない。

　ブロックリーグの昇格戦で東京２部に上がれる。

・来年度の登録担当者を今年度中に「登録担当代理」として必ず登録を。

・理事会で出た情報（開始時期など）を登録実務担当者に必ず伝える。

・「移籍」選手の報告は移籍先（追加登録する側）が行う。

・全日本のブロック予選はベスト４まで。準決・決勝は２０１７年１１月５日（日）に都連盟が指定するグラウンドで一斉開催（５Ｂは南豊ヶ丘？）。

・トーマス杯（６年生トレセン選抜）は２０１７年７月１日（土）・２日（日）に変更。来年度のトレセンは事実上６月で終了。１１月→７月に変更。

・新設する３年生の都大会（Ｕ－９）は２０１８年３月１０日（土）、１１日（日）に関東村と朝日Ｇで実施決定。ブロック代表は計６チーム。１日３チームがリーグ戦で２試合。

　チャンピオンは決めない。ユニと選手番号に注意！パンツには番号なくてもＯＫ。

　→５Ｂでは来年秋の３年生（すぎのこ）大会をＵ－９（仮称）の予選として再編予定。

　この大会は来年春の初期登録で３年生（以下）を１０人以上登録していることが参加要件。

→　エントリー数によっては３年あすなろの形態は？あるいは「第３の大会」を新設も。

・２チームエントリーについて都連盟では２０１７年度からすべての都大会にハードルを下げて（対象学年が３０人以上→２０人以上。例外はＪＡ杯で「３２人以上」）導入。予選への導入の可否は各ブロック一任。５ＢではＵ９大会のみ採用の方向（すでに１１人制で実施済み）。Ａ，Ｂ両チームがそのまま都大会に出場可。チーム間でのメンバーの入れ替えは不可。「都大会から単独参加」も不可。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　世話役代表　家田絵実